

編集顧問

阿部 弘
岩崎 喜信
大本 堯史
河瀬 斌
菊池 晴彦
桐野 高明
高倉 公朋
田中 隆一
西本 詮
橋本 信夫
早川 徹
平川 公義
堀 智勝
吉田 純
吉本 高志

編集委員

佐々木富男
(編集委員長)
新井 一
岡田 芳和
片山 容一
斉藤 延人
高安 正和
伊達 勲
富永 悌二
寶金 清博
宮本 享
吉田 一成
吉峰 俊樹
若林 俊彦
(五十音順)

本誌の扉で、坂井春男教授に、「一度世に出た文章を消すことはできないこと、そして、一言一句で書き手の本質が見抜かれてしまう…」と書かれてしまうと、私のような小心者(chicken)の筆は、怯えてしまって、一步も進まなくなってしまう。ただ、ここは、本誌の中では視聴率一桁に間違いない(編集部の方、事実誤認があればご容赦を)編集後記と高をくくって、「書き手のレベルがわかってしまう」文章を書かせていただく。

Evidence 一色の現在の医学において、経験的、非定量的、descriptive な記載という「文学」のごく普通の手法が極めて冷遇されていることは言うまでもない。そんな論文は、エッセイであり、天地がひっくりかえっても、Lancet や NEJM に掲載されることはない。もちろん、いわゆる narrative based medicine のように、これを止揚しようという試みもあるが、これは、臨床的な技術であり、医学論文における記述の方法としては、市民権を得ていない。

医学が科学の一部門を担っていることは、誰も否定しない。その科学のあり方は、ここ数年、構造主義者により批判されたり、認知論からその正当性に疑念が投げかけられたりしている。しかし、例えば、本誌の小泉先生の総説などを見ても、データから仮説、そして、その検証へと向かう論理的構造は、現代の科学に携わる私たちにあって、唯一信頼できるロジックである。

しかし、一方で、その科学から生まれた最も誇るべき成果であった「原子力発電の安全神話」が粉々に壊れた時、2つの批判があった。それは、都合の良い事実という点を線で結びつけてきた恣意性の問題、そして、こちらのほうが深刻であるが、観測されたデータから帰納(induction)によって確証性を導く現代科学の根本的な欠陥である。もちろん、非線形の科学というものもあるが、これは帰納法であり、不連続な現象を説明しようとする点で、帰納法を脱していない。

なにやら、面倒なことを述べたが、科学の一番に大切な条件は、反証可能性を内包していることである。それが、弁証法的に科学が発展する拠り所である。また、医学のように、社会との接触面が広い科学においては、適切な反証性がなければ、原発による被害に匹敵する災厄を無辜の人々にもたらすことを、私たちは思い知らされてきた。

健全な批判精神は、非難ではなく、科学の絶対的要件である反証可能性を引き出すために必須のものである。そうした視点から論文を読み込むと、「文学」とは違うものの、数値の裏に隠された「意図」や、本来、サイエンスにはそぐわない descriptive な記述が見えてくる。ある意味、良い読み応えのある論文は、そうした批判的吟味の楽しさを読者に与えてくれる。本号にも、多くのそうした論文が掲載された。

Neurological Surgery 脳神経外科
(第40巻第2号)

2012年2月10日発行(毎月1回10日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2012 年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)
冊子版/通常 32,760 円、冊子版/個人特別割引 30,030 円、冊子+
電子版/個人特別割引 35,030 円、冊子+電子版/共有 42,700 円、
電子版/個人特別割引 30,030 円、電子版/共有 37,700 円

E-mail : noge@igaku-shoin.co.jp http : // www.igaku-shoin.co.jp/mag/noge/

投稿論文オンライン受付 ID : noge パスワード : noge

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集部直通 (03) 3817-5701

(担当: 松田・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)リーブルテック 電話 (03) 3927-6411

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY® <(株)出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。